

# 文章の書き方

山本和彦  
(株)インターネットイニシアティブ  
kazu@iij.ad.jp

## 文章とは「心」

---

- この講義の内容は、文章に関する「技術」論
  - 例) 受動態を使うな、能動態を使え
  - 例) 否定文を使うな、肯定文を使え
- しかし、文章にとって大切なのは「心」
  - いつもイライラしている人に  
落ち着いたのある文章が書けるだろうか？
  - おおざっぱな人に緻密な文章が書けるだろうか？
  - 意地悪な人に心温まる文章が書けるだろうか？
- 文章には、両輪が必要
  - 伝えたいと (心)
  - 伝えたいことを正確に表現できる技術
  
  - ◎ 「心」があって「技術」もある
  - ○ 「心」があって「技術」はない
  - × 「心」がなくて「技術」はある ← 小手先の文章

## 説明する前に深く理解せよ

---

- 説明したいことを本当に理解しているか？
  - "the" の典型的な説明
    - × 固有名詞には定冠詞は付けないのが原則である
      - Japan
    - × ただし、次のような場合には定冠詞を付けるのが普通である
      - the United States of America
      - the Soviet Union
  - 正しい説明
    - "the United States of America" の "the" が必要なのは、名詞 "state" を限定しているから
    - 文脈がすべて：固有名詞も限定されうる
      - the Japan I knew in 7 years ago
- 参考文献
  - マークピーターセン著：「日本人の英語」、岩波新書
- 深く理解してから説明しよう
  - 中途半端な理解で説明してはならない

## クイズ

---

- エビ
  - 「蝦」と「海老」は何が違うのか？
- ソメイヨシノ
  - 桜はサクランボで子孫を増やす
  - ソメイヨシノは桜だが、サクランボはならない
  - ソメイヨシノは、どうやって子孫を増やすのか？
- 微分と積分
  - 微分と積分は逆演算の関係にある
  - 微分とは接線を求めることである
  - 積分とは面積を求めることである
  - 「接線を求めること」と「面積を求めること」が、どうして逆の関係にあるのか？

## 話し言葉と書き言葉

---

- 両者は近づけるべきだが、異なる
  - 喋る言葉は流れていく
  - 書いた文章は残る
- 文章は丁寧に書こう
  - 時間をかけて丁寧に
  - 誤植や「言葉の揺れ」はできるかぎり排除しよう
  - 何度も読み返そう
- 「文章とは削ることと見付けたり」 --- 島尾敏雄
  - 名文は削れ
  - 書いては削り、書いては削る
  - 同じ内容を表現できるなら、短い方がよい

## 言葉の揺れ

---

- 「言葉の揺れ」があると、悪い印象を与える
  - 文章を丁寧に書いていない
  - 文章の基礎を身に付けていない
  - × お客様には、新しいサーバを御使い頂くことをお願いします。新しいサーバは常時利用できますので、お客さまには、満足していただくと確信しています。また、必要であれば、複数のアカウントを発行する事も出来ます
- 問) 上記の例題から言葉の揺れをなくしなさい
- 日頃から表記を統一するように心がけよう
  - 自分なりの表記を確立しよう
  - 普段書くメールでさえも、表記を統一するように

## 論理構造を考えよう

---

- 主語、目的語、述語をはっきりさせよう
  - × この ML に田中さんを登録して下さい。  
なお、次の日曜日は参加できません
  - ○ この ML に田中さんを登録して下さい。  
なお、私は次の日曜日は参加できません
  - × 家族の日曜日の都合が悪くなったので、  
釣りに行くのは日曜日に変えてもらえませんか？
  - ○ 土曜日に釣りに行く約束をしていましたが、  
日曜日に変えてもらえませんか？  
家族と日曜日に遊園地へ行くと約束していたのですが、  
都合が悪くなり、土曜日に変更する必要が出てきました
- 問) 以下の例文を論理構造が分かるように  
修正しなさい
  - × 法律用語は難解で敬遠されがちだが、  
一旦理解すれば曖昧さがないので強く支持されている

## 一休み

---

- 主語と述語が対応していない有名な例

- 中島敦：「山月記」

一行が丘の上についた時、彼等は、言われた通りに振返って、先程の林間の草地を眺めた。

忽ち、一匹の虎が草の茂みから道の上に躍り出たのを彼等は見た。

虎は、既に白く光を失った月を仰いで、

二声三声咆哮したかと思うと、

又、元の叢に躍り入って、再びその姿を見なかった

- 虎は、再びその姿を見せなかった

- 一行は、再びその姿を見なかった



## 受動態

---

- 受動態を使うな、能動態を使え
  - × ガンの特效薬が開発されました
    - 主語が明示されないのはもったいない
  - ○ 我が社は、ガンの特效薬を開発しました
  - × フェルマーの最終定理が証明された
    - 誰の功績なのかぐらい調べよう
  - ○ ワイルスがフェルマーの最終定理を証明した
- 問) 以下の文章から不要な受動態を取り除きなさい
  - × 高速なルータが発売されたので、  
バックボーンの増強が進められています

## 否定文

---

- 否定文では説明したことにならない
  - × ハッカーはクラッカーじゃない！
    - ハッカーとクラッカーが違うことは分かるけど。。。○
    - ハッカーとは何か？
    - クラッカーとは何か？
  - ○ ハッカーは腕の立つプログラマーのことだ。  
悪者のクラッカーじゃない！
- 「ように」を否定文と一緒に使うと意味不明
  - × ジュゴンのように、マナティは魚ではない
    - ジュゴンが魚であるが、マナティは魚ではない？
    - ジュゴンが魚でないように、マナティは魚ではない？
- 問) 以下の否定文を肯定文に直しなさい
  - × 機密性(confidentiality)とは、  
通信の内容が盗聴されないことである
  - × 報道の自由とは、有名人のプライバシーを暴いてよい  
ことではない

## 変だ

---

- 何が正しいのか説明されない言葉
  - 変だ
  - 間違い
  - おかしい
- 何が正しいのか説明しよう
  - × ルピナスが秋に咲くのは変です
  - ○ ルピナスは春に咲く花です。秋に咲くのは変です
- 以下の例文を何が正しいのか分かるように直しなさい
  - × 和食にワインを合わせるのは、おかしい
  - × スーツを着ているのに、スニーカーを履くのは変だ

## 疑問文

- 疑問文は書き手の意図と異なる印象を与える
  - × これまでの内容は理解できたでしょうか？
    - 読者：そんなこと訊く時間があるなら、理解できるように書けよ...
  - ○ これまでの内容は十分理解できたと思います
    - A: 会議室が空いているか教えて下さい
    - B: × 会議室とは、会議室1ですか？ 2ですか？
      - A: 2つしかないんだから、両方教えてよ...
    - B: ○ 会議室1は予約されていますが、2は空いています
- 疑問文を使ってもよい場合
  - 本当の疑問
  - 読者に考えてもらいたい課題 (効果的な疑問文)
- 効果的な疑問文の例
  - ○ 国家の安全保障と個人のプライバシーとでは、どちらが大切だろうか？
  - ○ 末期患者の死ぬ権利は認められるべきだろうか？

## 語感に鋭くなるう

---

- 言葉の意味を知ろう
  - 「考える」と「思う」
- 漢字
- カタカナ
- 言葉の品性

## 言葉の意味を知ろう

---

- 「考える」と「思う」
  - ○ 将来のことを考える ○ 将来のことを思う
  - × 恋人を考える ○ 恋人を思う
  - ○ 献立を考える × 献立を思う
- 問) 以下の条件に合う言葉を挙げなさい
  - 「考える」としか言えない言葉
  - 「思う」としか言えない言葉
- 「考え出す」と「思い出す」
  - ○ 解決方法を考え出す × 解決方法を思い出す
  - × 昔のことを考え出す ○ 昔のことを思い出す
- 問) 「考える」と「思う」はどう違うか？
- 参考文献
  - 大野 晋：「日本語練習帳」、岩波新書

# 漢字

---

## ■ 問) 以下に示す言葉の意味を述べよ

- 「聞く」 「訊く」 「聴く」
  - 「見る」 「観る」 「看る」 「視る」 「診る」
  - 「取る」 「撮る」 「録る」 「採る」 「獲る」
  - 「穫る」 「摂る」 「捕る」 「盗る」 「執る」
  - 「計る」 「測る」 「量る」
  - 「作る」 「造る」 「創る」
  - 「乗る」 「載る」
  - 「特徴」 「特長」
  - 「保障」 「保証」 「補償」
  - 「伸びる」 「延びる」
  - 「駈ける」 「駆ける」
- 
- 辞書を引く習慣を付けよう
    - 国語辞典
    - 用字用語辞典

## カタカナ

---

- カタカナばかりの文章は読みにくい
  - × このワーキンググループでは、メンバーのコンセンサスをベースにプロトコルをデザインする。そして、インプリすることで、その正しさをチェックする
  - ○ この分科会では、会員の合意に基づいて、通信規約を設計する。そして、実装することで、その正しさを検証する
- 目立たせたい単語をカタカナにするのはよい
  - ○ この分科会では、会員の合意に基づいて、プロトコルを設計する
- カタカナばかりだと日本語の語彙力を疑われる
- 問) 以下の例文から不適切なカタカナを削りなさい
  - × ブレーク中のバンドのチケットをゲットした
  - × ストラテジーを立てるスキームを決めよう
  - × コンフィグの方法について書かれたドラフトのレビューを頼まれた



## 言葉の品性

---

- 悪貨は良貨を駆逐する
- 品のない「むかつく」
  - × 「あいつ、むかつくー」
  - 問) 「むかつく」という言葉を使った  
伝統的な表現の文章を作りなさい
- 自信のなさが表れている「微妙」
  - A: 「あの映画面白い？」
  - × B: 「微妙～」
  - 問) 「微妙」という言葉を使った  
伝統的な表現の文章を作りなさい

## 文章が下手な人に多い言葉

---

- 行う
- 非常に
- 美しい (単純な形容詞)
- もの
- ～ことができる
- ～的
- 注釈と括弧

## 行う

---

- 文章の柱は動詞
  - 動詞を豊かに使うと、文章に落ち着きが出る
- 「行う」は、文章を貧しくする
  - × 会議を行う
  - ○ 会議を開く
  - × 利用率の調査を行う
  - ○ 利用率を調査する
- 形容詞ではなく、副詞を使え
  - × 形容詞＋名詞＋行う
  - ○ 副詞＋動詞(名詞＋する)
  
  - × 活発な議論を行う
  - ○ 活発に議論する
- 問) 以下の例文から「行う」を取り除きなさい
  - × 適切な設定を行うための情報
  - × サーバにかかる負荷の軽減を行う
  - × 標準機能のみで行える

## 非常に

---

- 「非常に」は仰々しい割に、  
なんら程度が伝わらない
  - × 今朝は非常に寒かった
    - 「今朝は寒かった」とどう違うのか？
- 「非常に」は削れ
  - ○ 今朝は寒かった
- 程度を伝えたいなら、詳しく描写しよう
  - ○ 今朝は水道が凍り、霜が降りていた。  
セーターを余分に着込んで外出したが、  
駅まで耐えきれず、途中のコンビニで暖をとった
- 問) 以下の例文から「非常に」を取り除き、  
程度が伝わる文章に直しなさい
  - × この時間は電車の中が非常に混雑している
  - × ブラジルは非常に遠い国だ
  - × 沖縄に雪が降るのは非常に希だ

## 美しい

---

- 「美しい」では、美しさが伝わらない
  - × アジサイが美しかった
- 単純な形容詞ではなく、言葉を尽くして描写しよう
  - ○ 赤紫や青紫のアジサイが、雨後の光に照らされて、色鮮やかに咲き誇っていた
- 問) 以下の例文から「美しい」を取り除き、美しさを表現しなさい
  - × 夕日が美しかった
  - × 車窓から見た銀世界が美しかった

## もの

---

- 意味の広い「もの」はピンボケ
  - × インターネットにはメールというものがある
  - ○ インターネットにはメールというサービスがある
  - ◎ メールは、インターネットで重要なサービスの一つである
- 日本語の特性
  - 日本語は概念を扱うのが不得意
  - 概念を「もの」に変えないと不安に感じる
- 「もの」は削れ
  - × 人には思い入れというものがあり
  - ○ 人には思い入れがあり
- 以下の例文から「もの」を取り除きなさい
  - × 行き方には以下のものがあります
  - × この機能は標準で利用可能なものです

## ～ことができる

---

- 「～ことができる」は冗長な印象を与える
  - × 高速に処理することができる
  - ○ 高速に処理できる
- 和語ではなく、漢語を使え
  - × 和語 + ことができる
  - ○ 漢語 + できる
  
  - × 経験を蓄えることができた
  - ○ 経験を蓄積できた
- 問) 以下の例文から「ことができる」を削りなさい
  - × 考えることができる
  - × 自由な設計を行うことができる
  - × 後から置き換えるということが出来る

## ～的

---

- 「～的」は、共通理解のない言葉を作る
  - × 昔のメールは、ハブ的ホストを介して配送した
  - ○ 昔のメールは、拠点となるホストを介して配送した
  
  - × ネットワーク的に遠い場所にある
  - ○ 通信に時間のかかる場所にある
  
- 共通理解のある例
  - 客観的、意図的、効果的、自動的、基本的、一般的
  
- 以下の例文から「～的」を削りなさい
  - × 僕的に言えば、
  - × 今日の気分的には、
  - × 時間的には、余裕がない
  - × メールの管理に役立ててくれ、的な内容にしたい



## 注釈と括弧

---

- 注釈があると読みにくい
  - 目を離れた場所へ動かす必要がある
  - 注釈を付ける必要がある説明は、例外があり、汎用的でない
- 注釈は削り、汎用的な説明を考えよう
  - × 哺乳類の特徴は、子供を産み(註1)、育てることである
    - × 註1：カモノハシは卵を産むが、哺乳類に分類されている
  - ○ 哺乳類の特徴は、乳で子供を育てることである
- 括弧も削れ
  - × サメは、交尾し子供を産む(卵を産むサメもいる)。だから、鮫は魚偏に交わると書く
  - ○ サメには、卵を産む種類と子供を産む種類がいる。後者は交尾をする。だから、鮫は魚偏に交わると書く
- 注釈と括弧の必要ない文章を考えよう

## 曖昧さの排除

---

- 不用意に使うと意味が曖昧になる言葉
  - 順接の「が」
  - 「も」
  - 「の」
- 「近年のよく知られている印刷された駄作は、驚くほど多くのブレークやダッシュで区切られている」 --- ジョナサン・スウィフト
  - 「下手な文章は、驚く程多くの順接の『が』と曖昧な『も』『の』でつながられている」 --- 山本和彦

## 順接の「が」

---

- 接続詞「が」には、順接と逆接がある
- 逆接の「が」は読者の期待通り
  - ○ 今日は晴れでしたが、明日は雨でしょう
- 順接の「が」は読者の期待を裏切り、論旨が追えない
  - × 今日は晴れでしたが、明日も晴れでしょう
- 順接の「が」のところで文章を切る
  - ○ 今日は晴れでした。明日も晴れでしょう
- 順接の「が」は、話題提供のときのみ使え
  - ○ 先日お話しした件ですが、うまくいったのでお知らせします
- 問) 以下の例文から順接の「が」を削りなさい
  - × 個人情報保護法が施行されたが、その効果が徐々に現れてきた
  - × それぞれのサーバで設定しなければならないことだが、基本的なことなので理解しておきたい

## 「も」

---

- 「も」を使うと曖昧
  - × 大阪から東京へは新幹線で行く方法もある
    - 他の方法は何なのか分からない
- 「も」は「AもBも」と使う
  - ○ 大阪から東京へは、飛行機で行く方法も新幹線で行く方法もある
- Aが自明な場合
  - ○ 大阪から東京へは飛行機で行く方法がある。新幹線で行く方法もある
- Bがないなら、別の言葉に置き換えよう
  - ○ 大阪から東京へは新幹線で行く方法がある
- できるかぎり「も」はなくそう
  - 「も」を使わないとしっかりこない場合にのみ使おう
- 問) 以下の例文から曖昧さをなくしなさい
  - × 今日も天気が悪かった。夜には雷も鳴り出した。帰りの電車も遅れ、売店も閉まり、傘も買えなかった

## 「の」

---

- 「の」を不用意に用いると文章が曖昧になる
  - × 父の写真
    - 父を写した写真？
    - 父が持っている他の人を写した写真？
    - 父が撮影した写真？
  - × 東京の兄の家
    - 東京に住んでいる兄が所有している(どこかにある)家
    - (どこかに住んでいる)兄が東京に所有している家
    - 東京で兄が住んでいる家
- 問) 以下の例文に対し、可能な解釈を列挙しなさい
  - × 私の本
  - × 実家の妹の車

## 効果的な文章

---

- のだ
- 文と段落

## のだ

---

- 「のだ」の乱用はくどい
  - × 春が近付くと日本人は、桜を思う。  
咲くのは明日か明日かと気になるのだ。  
桜は短い期間咲き誇り、潔く散るのである。  
そんな桜に日本人は和の心を感じるのだ
- 「のだ」は主張や結論に使おう
  - ○ 春が近付くと日本人は、桜を思う。  
咲くのは明日か明日かと気になってしかたがない。  
桜は短い期間咲き誇り、潔く散る。  
そんな桜に日本人は和の心を感じるのである
- 問) 「のだ」を有効に使った文章を作りなさい

## 文と段落

---

### ■ 文は長短を織り交ぜよう

#### ■ 中島敦：「山月記」

谷川に臨んで姿を映して見ると、既に虎となっていた。  
自分は初め眼を信じなかった。  
次に、これは夢に違いないと考えた。  
夢の中で、これは夢だぞと知っているような夢を、  
自分はそれまでに見たことがあったから。  
どうしても夢でないと思わなければならなかった時、  
自分は茫然とした。  
そして懼れた。  
全く、どんな事でも起こりうるのだと思うて、深く懼れた。  
しかし、何故こんな事になったのだろう。  
分からぬ。  
全く何事も我々には判らぬ。  
理由も分からずに押付けられたものを大人しく受取って、  
理由も分からずに生きて行くのが、我々生きもののさだめだ

### ■ 段落は概ね同じ長さにしよう